

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

---

# up

'96

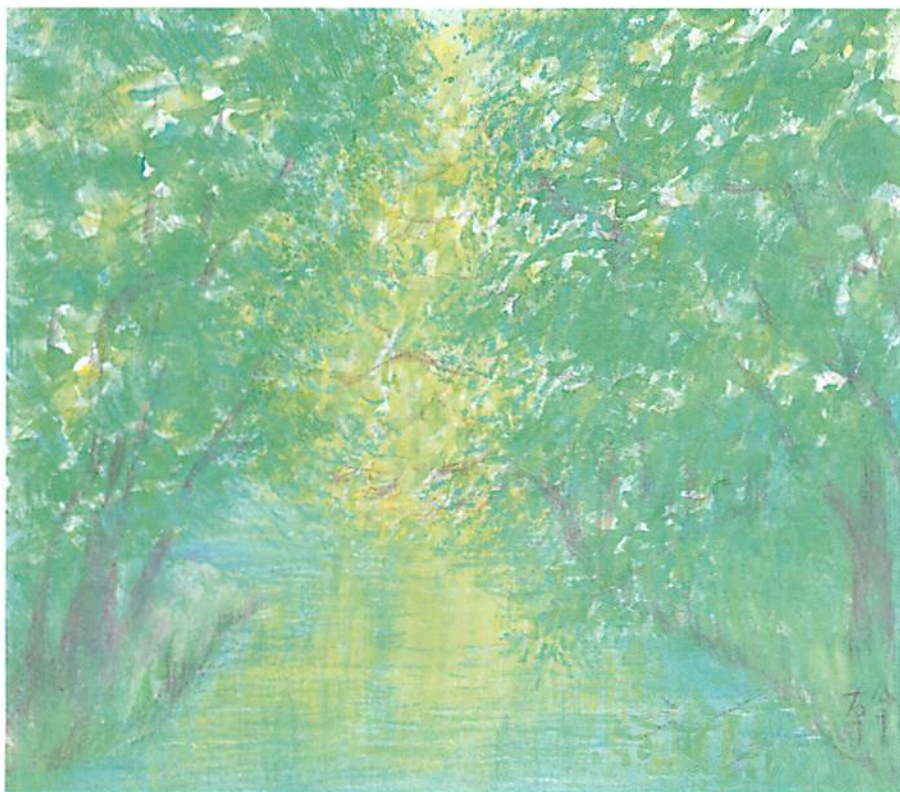
夏季

号【7・8月合併号】



いまを話す

小説すばる新人賞作家 たくきよしみつさん  
タヌキと共存できる社会を实践？  
作品は真迫のミステリー



人気沸騰！  
錦織 健が来る

7月31日(水)  
前売り開始

■ほんねインタビュー いまを話す

小説すばる新人賞作家 たくき よしみつさん

タヌキと共存できる社会を实践?

作品は真迫のミステリー

■はりきつてます グループ紹介

路上のごみを収集する

クリーンナップかきお

昔話を子供たちに聞かせる

おはなしの小箱

●学習・文化情報

●初めてふれるパソコン講座の受講者募集

■「市民アカデミー」運営協の市民委員募集

●ミニニュース／読者の声／編集後記

◆錦織 健&ロンドン・モーツァルト管弦楽団

7月31日(水)前売り開始

◎表紙絵：早野聖地公園の中の瀧ヶ池——清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

### 第20回

## ゆりがおか児童合唱団定期演奏会

8月29日(木)午後6時30分開演

麻生文化センター

(小田急線新百合ヶ丘駅下車)

全席自由 1,000円

- 合唱——ゆりがおか児童合唱団  
コール・リーリエ
- 演出——石井かほる
- ピアノ——西山 淳子
- 指揮——山田 榮子
- 曲目——コダーイとバルトークの歌～6つの愉快的なカノン、パン焼きの歌  
祈りの歌～アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト作曲)  
マザーグースの歌(青島広志・作曲、谷川俊太郎・訳)ほか



◆問い合わせ 奥原 ☎(955) 9983、金子 ☎(511) 2046

主催/ゆりがおか児童合唱団 後援/川崎市、市教育委員会、(財)市生涯学習振興事業団



# 思いをともじ

## 楽しかったね 2・5

(4)

「読者のつどい」テール懇談で「ステージ・アップは、行政（川崎市）と住民とを結ぶ情報誌。この役割を今後も担って」との多くの意見が出された。

編集スタッフの田中は、つどいで「これからも市民六、行政四のスタンスで発

政は市民の自主的な学習活動の芽を摘むことのないよう……。支援・援助することにより豊かな市民文化の花が開く」と「行政の市民化」を強調している。

「六・四のスタンス」について、当事業団や市の幹部職員は「当然」との反応

いに長時間、熱心に加わった理由の一つに、市長自身が生涯学習推進の提唱者で生涯学習情報誌の生みの親であることが挙げられる。

### 市民参加の情報誌づくりを指示する

高橋市長が助役のころ、「長寿社会になって、会社勤めの男性は定年後、二十年以上も地域社会で生きることになる」と、生涯学習の必要性を説いてきた。ま

# 異例 市長、長時間の参加の訳は……

行したい」と述べたが、読者の中には「六・四でなく、五・五にしておけばいいのに」と冷やかす人もいた。ステージ・アップの表紙に「市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く 生涯学習情報誌」と記されている。これは、川崎市生涯学習基本計画（一九九三年）の中の「市民が主人公となる市民の学習計画」の考えに沿ったイメージだ。

また、同基本計画は「行

で「行政の市民化」が緩やかだが着実に進んでいる。ところで、大都市の市長が、市民主催の不特定多数のつどいに二時間以上も出席することは極めてまれ。

つどいで、生涯学習やステージ・アップとあまり関係のない事で、何人かの読者が高橋清市長へ「直訴」した。他の読者から「市長は居心地が悪かったのでは」との声があがった。

高橋市長が、読者のつど

た、生涯学習振興事業団が発足して間もなく、事業団ニュースだったステージ・アップを生涯学習情報誌に衣替えるよう指示した。常々、高橋市長は「市民が実践していることを行政が側面から応援する、この手法でないと、行政の今後の事業は発展しない」と、内発的発展論を述べてきた。「ほんねインタビューいまを話す」は、川崎という地域社会で、どのような

市民が、どのような理念をもって活動しているか「個人の生き方から学ぶ」記事。「はりきってます グループ紹介」は、サークル活動の楽しさを通して、地域社会への参加を呼び掛けるのがネライで、二つとも内発的発展に不可欠と、いえない。

つどいの後、市長の顔に疲れの色がにじんでいた。真剣に市民の声を吸収した証なのか。しかし、次の会合で市長は「きょうは、内発的刺激をたくさん受けてね」と笑顔で話し、つどいを知らない人をキョトンとさせた。

(おわり)



テーブル懇談でひっぱりだこの高橋市長（中央）



## いまを話す

ゲスト

小説すばる新人賞作家  
たくき よしみつ さん

Vol. 46

狸タヌキと共存できる社会を实践?心の闇、愛と性  
エコロジィで 真迫のミステリー

「タヌキと共存できる社会が適度な文明社会」と述べ、実際に麻生区東百合丘の自宅にタヌキを同居させている、たくき・よしみつさん(41)は、一九九一年「マリアの父親」(集英社)で小説すばる新人賞を受賞。現代の落ちこぼれの主人公がイルカ保護の工セ環境団体、原発などのエコロジィ問題にぶち当たる真実味を帯びたミステリー。すべての現象は汚染拡散を促す、とのエントロピーが作品ににじむ。翌年の「雨の降る星」(集英社)では、エイズに焦点をあて現代人の愛と性、心の闇に迫った。音楽活動にも力を注ぎ、文字・音とも「傷付いた地球への愛のメッセージ」。最近「カムナの調査」(読売新聞社)を出版。インタビューは椎野和枝さん。

——たくきさんは、タヌキと同じ居られているそうですね。

たくきさん 八年になります。ペットショップの狭い檻かごに入れられ、うなっていたんです。丹沢に放すはずが、居着いてしまって。タヌキは一對一で付き合うと面白いですよ。

——エッセー集「狸タヌキと五線譜」(三交社)で「愛しい」とまで書いていますね。

たくきさん ご飯をあげているだけですが、人間はそのことに意義付けを求めます。タヌキの方は、

おそらく気持ちよく一生を送りたいと思っただけでしょう。最近、ペランダと家の中を自由に行き来しています。

——一九九一年に「マリアの父親」で、第四回小説すばる新人賞を受賞されましたが、文学を通して何を訴えたかったのですか。

たくきさん 小説は、自分の内面世界を表現する一手段だと思っています。「マリアの父親」は、ストーリーがとても面白く、原発やエセ・エコロジィをモチーフにした分かりやすい小説、と自負しています。しかし、読者に「自分のメッセージを伝えたい」との強い思いがあったのは事実です。こんなことを作者が明かすのは、ちょっと味気ないかな(照れ笑い)。

——「マリアの父親」は、一つの転機になった作品と思うのですが……。

たくきさん 以前から関心を持っていたエネルギーや環境問題、動物の問題の本質が「エントロピー」という考え方を知って、すっかり理解できたときでした。「目からうろこが落ちた」とはあのことです。その視点を小説に盛り込むうと考え、邪念を捨てて一途に書



# 血を流す人類の母・地球

## 事実認めぬ「マリアの父親」はだれだ

きました。

それはどんな考え方ですか。たくきさん エントロピーとは、「汚れ」と言ってもよく、もとも

とは熱力学の用語です。あらゆる現象が汚れて拡散する方向に進み、それを元に戻すことはできないと考えます。そのままですと、地球は排出物だらけになり、生き物が生存出来ないはずですが、生物が永らえ、地球環境が保全されているのは、汚れを宇宙に捨てる仕組みがあるからです。そこまで考えないと環境問題の本質は見えてこないと思うんです。

——「エントロピー小説」宣言



をしています。あの小説の中に情報操作の話が組み込まれていますね。

たくきさん 僕がとても憤慨している問題なんです。自分がマスメディアの中で仕事をしてきて、いかに情報が操作されやすいものか、身を持って知りました。ナマのままのメッセージや映像は、ま

ず有り得ませんね。

具体的に言いますと……。たくきさん 「電気自動車は無公害」と環境擁護派の人たちもシンボルのように言いますが、今の車が全部、電気自動車になったら、地球は破滅ですよ。マスコミは、「電気自動車の方がコストが安い」というデータを平気で流しています

すが、そんなことは絶対ない!。たくきさんの情熱、こたわりは、小説を読んでも直に伝わってきます。

たくきさん エントロピーは難し過ぎるとの反発もあるので、良

質のエンターテイメントを目指しました。小説とは、伝奇性やロマックが大切ですからね。こだわりの一つに「闇の世界」があります。地球を支えているのは、生物循環だということを忘れたら人間は終わりだと思っんですね。

——たとえば……。

たくきさん 川の中には、バクテリアやミジンコなどの微生物や魚が生息していて、われわれの目



に見えないところで生物循環が行われているわけです。だから、生ごみを流しても分解され、地球をこみだらけにすることから救ってきたわけです。

それを「闇の世界」と呼ぶのですね。

たくきさん 多くの人は、目に見える表の部分しか見ていない。人間の科学技術や知恵では及ばない、目に見えない闇の世界の偉大

### たくき よしみつ さん

1955年、福島県生まれ。7歳から川崎市に在住。上智大学外国語学部卒。中学生のころから小説を書き始め、コピーライター、シナリオライター、作曲家、歌手として活動。CM、ビデオなどの制作にも携わる。91年、「マリアの父親」(集英社)で第4回小説すばる新人賞受賞。

現在、小説を執筆する一方、音楽創作活動を。著書は「雨の降る星」(集英社)「狸と五線譜～ポンポコライフ雑記帖」(三交社)「カムナの調合」(読売新聞社)など。住まいは麻生区東百合丘。家族は妻とタヌキ?。

さを知り、畏怖や尊敬の気持ちをも復活させないと破滅する気がしません。そこに僕の小説の役割があると思うんです(静かな口調で)。

——そうですね(うなずく)。

たくきさん 昔の小説は、そういう世界を描いていたと思うんです。ホラーやミステリーは、闇の世界に関連していた。僕がタヌキや天狗、河童を書くのも、闇の世界のシンボルとして分かりやすく、非常に魅力的だからです。

——エイズを取り上げた「雨の降る星」では「心の闇」が描かれていますね。



## 大切な心の揺らぎの認識

TVゲームで 現実と仮想の混同  
若者に広がる

たくきさん ええ。タヌキは快楽を追求するだけで、芸術作品を生み出したのか、金もうけをしたいとは思わない。人間だけが、そういう考えや文化を培ってきたわけですね。僕が、作曲や演奏をしなくても、小説を書かなくてもだれも困らない。けれど、僕は音

楽をやりたいし、小説も書きたい。——そう思うことを「心の闇」と呼ぶのですか。たくきさん 人間だれもが、心の闇を抱えていて、そこが小説を書くときに重要だと思っんです。それが全く感じられなければ、面白くてもすぐ忘れられてしまう時



初の「KAMUNAライブ」で、吉原寛さん(左)らと自作の曲を演奏するたくきさん(右)

問つぶしの小説ですよ。

——最近、小説を読んでもどこか冷めていたんですが「雨の降る星」は、人間愛の昇華を感じて、ぐっときました。

たくきさん あれは、僕自身が人生の転機を迎えていたとき書いた半私小説なんです。人間と人間が触れ合い、愛情が生まれる。そのとき、初めて自分が抱えていた「闇」を意識できることが多い。

——いまの若い人たちは、本を読まなくなり、心の闇の部分を感じないように感じますが。

たくきさん 「自分の心の闇を語る事がカッコ悪い」という風潮が作り出されたと思います。若い人が聴く音楽は、全部パターン化されたエイトビートの電子音でしよ。人間の心の揺らぎやデジタルに変換できない音の要素こそ大切なのに。

——テレビゲームのバーチャル(仮想)な世界もありますし。

たくきさん あれにどっぷり漬かっていると、現実の木々や土の匂いが非日常の世界と錯覚するようになりますね。いずれにしても、精神の形成段階に悪影響を与え、自分の心の闇に気付かず、見付ける術

も持てなくなっている若い人が増えているのは事実です。だから僕はテレビゲームにも、積極的に心の闇の部分を探っていくべきだと思います。

——ところで、たくきさん自身の日常はいかがですか。

たくきさん ヘラヘラしているんです。タヌキと同じで(笑い)。朝早く満員電車で通勤するのは嫌だし、とにかく音楽をやりたかったので、自宅で金を稼げるライター業に入り、いつの間にか小説家に。十年先のことは分かりません。

——最初から小説家を目指したのではないと。苦勞した経験もな

いみたい……。たくきさん 音楽がいつもメイソンで、うまくいかないときに小説を書く、その繰り返しです。だから、いつも悩んでいるんです。賞を取ったとき、プロとは何か分からず勉強不足だと思いました。その後、売れなくて、うだうだしていたのは、非常にいい勉強になりましたね。

——「品位のある生き方をしたい」とも書いていますが。たくきさん それが結構厳しいんですよ。下品な誘惑がいっぱい



## オウム・薬害エイズ・住専

## 組織の中で“自分殺す”正せ

あるから(笑い)。締め切りに追われ、売れるものを書きまくるといふ誘惑はいっぱいあります。だから、仕事を断る勇気も必要なんです。でも、そんな仕事仲間がいい人なんです、不思議と。高尚な



純文学を書いている人が性格悪かったり、二十代で賞を取った人のエッセーは気分が悪くなるほどだったり(笑い)。

——人は見掛けによらないと。たくきさん 自分の視点がすべてで、都市文明の中で地べたに足を付けていない生き方を開き直って主張しているんです。地球が破壊しても構わないという生き方を、

文学の中でも露骨に出している。

僕は、その対極にいたいから「そんな純文学なら、エンターテインメントの方がいい」と思うんです。

——たくきさんの考え、さわやかですが、縛られない生き方ができて、うらやましい。

たくきさん いやー、それが際どいんですよ(笑い)。でも、日本人のこれまでの仕事の概念は、変える必要があると思っています。会社って、量を競いもうけ優先の社会でしょ。これからの時代はそれでいいのよ。「仕事だから」の仕事って何なの?。人生においての仕事とは?考えてほしいですね。

——生活を問い直せと。

たくきさん ええ。オウム事件も薬害エイズも、住専問題も、組織の中の「自分」が死んでいるところに大きな要因があると思うんです。「上から言われて仕方なかった」という言い訳、よく聞きますが、組織の中にいる個人の責任、

大きいと思いますよ。

——上意下達で個人が死んでいる、ですか。

たくきさん 組織とか会社は、一人ひとりの幸福実現の手段であつたはずなんです。いまは、それ自体が最終目的になっているみたい。「寄らば大樹の陰」の妄想、これからは成り立たないと思います。ね。会社員としてではなく、個人として提言すれば、社会が大きく変わらなうんです。

——利潤追求の矛盾があちこちに出て、そのしわ寄せは下が。

たくきさん これまでのように数を追求したら、文明が破滅に向かいます。でも、それは今の会社の在り方を根底から覆すことにならんです。月給が半分になつても充実感のある生活を探らないと……。たくきさんの人が「忙しい」と言っていますが、いままでの生活が、人間らしいものなのか。どう



椎野和枝さん

## 椎野 和枝さん

しいの・かづえ=1934年、京都市生まれ。同志社教育、毛利菊枝演劇研究所卒、NHK婦人学級世話人、広島女性史研究会を経て80年から川崎に住み「女性の学習情報をつなぐ会」、東洋大学特別研究会「21世紀の女性」、川崎「ぶらす1」に所属。共著は「山陽路の女たち」「テキスト現代女性読本」。麻生区白山在住。

でもいい事に時間を割き、気が付いたら定年になっていないか……。——今後の創作活動の抱負をお聞かせ下さい。

たくきさん ミステリーのフィールドで、自分にしか書けないものや、現代人のためのおとぎ話、音楽をからめた恋愛小説を書いてみたいと思っています。

——たくきさんは川崎に住んで三十年余、ひとこと感想を。

たくきさん ダサイというイメージがありますね。土地開発も根こそぎやるでしょ。黒川の開発にしても、最初にグリーンベルトを計画して、タヌキが町田から川崎に引越すような自然な通路を残す、そういう発想がほしいですね。

題字は高橋清・川崎市長

構成/野々川千恵子

文責/田中 園



## はりきってます グループ紹介



# 「ポイ捨ては恥だ」 子供の美意識育つ

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

住む街を

三棒を持って、柿生小裏門に集まる。一カ月ぶりの元気なあいさつを交わし、その日の活動場所を確認、それぞれが持ち場へと散る。この日の参加者は大人十一人、子供十三人。すがすがしい風ときらきら光る朝日を浴び、おしゃべりしながら作業を始める。

路上の空き缶や牛乳のパックをつまみ上げる子供たちの目が、宝探してもするように輝き出す。空き地の木の下、側溝や道路わきの雑草の中のごみをもくもくと拾う中年女性。もう一人の女性が「どうしてちゃんとごみ箱に捨てないんだろう」と、川沿いのフェンス

の中にハサミ棒を突っ込む。男性会員が、フェンスを乗り越え一面のごみを拾う。おさ苦しかった川沿いがさつぱりして緑が映える。

**ごみのない街へ意気込み**  
腰をかためたり、背伸びをして作業する姿からは「小さなごみも見逃さない」との意気込みが感じられる。

川崎北部に位置する麻生川周辺は、のどかな風景が残っており、休日には散歩を楽しむ夫婦や家族連れの姿が見られるが、道路脇には紙くずや空き缶が散らばる。

約一時間の作業の成果は、ごみ袋八つ。昨年七月に施行された市の「ポイ捨て禁止条例」がかすむ。四年前、豊島代表らが「こんな汚い道は子供に見せられない」と子供会のお母さんたち呼び掛け会が発足した。そして、柿生小三年の社会科で同会が取り上げられ「僕たちも」と子供たちが入会。その活動を児童会で発表、校外美化活動のきっかけとなり、現在、同校は学期に一度、全校による校外清掃を行っている。

また、小田急電鉄も会員の活動に協力、駅構内の側溝に蓋をし、会員が集めたごみを預かっている。豊島早苗さん(12)は「友達の中には、食べ歩きしたごみをくずかごに捨てるのはカッコ悪いと思っている人がいる」と首をひねる。

この日ただ一人の男性、菅原辰雄さん(44)は「道がきれいになり、町の人も以前よりごみを捨てなくなりました。お父さんも参加してほしい」と呼び掛ける。

同代表宅は、麻生区片平一の一六の二の二一四。☎(087)9274。

文／熊野史子  
カメラ／小誌・山本綾子

「ごみが散乱している道路を平気で放置しているなんて大人の恥」。麻生川の「クリーンナップ」の朝、清掃する。各目が大きなきーと袋とハサ

## 路上のごみを収集する

### クリーンナップかきお(麻生区)



## 昔話を子供たちに聞かせる

## おはなしの小箱

昔話や童話を素語りで聞かせる会「おはなしの小箱」―田口真知子代表(45)ら十人―は「子供たちが楽しみに待っていてくれるのがうれしくて」と声をそろえる。

この日は、九年前から毎月「公演」を続けている高津区の橋小学校。朝、二年生の教室で担任の黒川紀子教諭が「今日はおはなしおばさんが来る日です」と話すと「やったー」の歓声に包まれる。

床に座布団を敷き、思い思いに座る児童たち。「ろうそくの歌」をみんなで歌い会がスタート。話し手がいすに座り、子供たちの目を見詰めひと呼吸。息を詰めて語り手の言葉を待つ可愛いお客さん。ゆつたりした口調の民話、少しひょうきんな声で話す愉快な童話。そわそわしていた子も、いつの間にかお話に引き込まれ、大きな笑い声や驚きの声を上げ、民話の世界に浸り遊ぶ。ろうそくの歌」を再び歌う児童の声は、はつらつと

していた。

素語りの魅力は、読み聞かせと異なり、それぞれの語り手が物語をイメージし、聴衆の目を見なが

ら話すので、子供たちが想像力を膨らますことが出来ることだ。

同会は十年前、中原市民館成人学校講座「おはなしおばさんになるろう」の修了者有志で発足。最近も、こども文化センターや図書館、小学校からの要請で、毎月五、六回も「会」を開いている。こども文化センターなどでの公演の際は、本物のろうそくを灯し、最後に各

自が頼い事を心でつぶやき、火を消してお開きにするという。

田口代表は「子供は正直で、のつてくる」のが分かります。また、気心の知れた仲間の話を聞いて私自身も面白いと感じます。子供が手紙をくれますが、お話の筋に無いものまで、見えているんですね」と子供の感性に感激の面持ち。

「覚えるときは、地獄の苦しみを味わうことも。でも、子供たちが聞き入り、反応が返ってくる地域に溶け込めて、本当に良かった」と吉田靖子さん(37)。

津田安世さん(45)は「聞いてくれる人がいることがうれしい。自分が得るものが大きいので、申し訳ない気も……」とほほ笑む。

黒川教諭は「子供たちは、しっかりととした雰囲気の中で、お話の世界に浸った後、聞いた話の本を読みたくなるようです。とてもいい時間です」と会に感謝する。

勉強会は、毎月第四不曜日(午前十時から)中原市民館で開いており、メンバーを募集している。同代表宅は中原区上丸子天神町三二二。☎(733)6615。

文／小誌・野々川千恵子  
カメラ／小誌・山本 綾子

## 笑い驚き想像する 大切な心の遊び



仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。



学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

①社交ダンス特別講習  
 ②夏休み陶芸教室◆川崎市民プラザ①は7月20日(祝)13時。映画「シヤルウイダンス?」のステッパを踊る。初級者以上の人。受講料3千円。定員は男女各25人(抽選)②は7月23日(火)10時と14時。小学3〜6年生。無料。定員は各30人(抽選)。申し込みは①7月8日(月)②7月12日(金)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号と②は希望時間を記し〒213高津区新作1の19の1、同プラザ・各講座係☎(888)3131。梶が谷駅下車。

「ラバンセンター・ダンスセミナー◆玉川大学」7月6日(土)15時▽7日(日)10時。身体表現の基礎から体験学習まで。講師はDr・ノース・センター長ら。受講料1万5千円。定員60人。同センターは、舞踊教育の世界機関。申し込みは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。「地域消費者問題専門講座◆県川崎消費生活センター」7月5日(金)▽9、16、23日の火曜▽11日(木)の10時から全5回。テーマは年金、リサイクル、食生活と運動、葬儀。講師は鈴木正成・筑波大教授ほか。無料。定員先着80人。申し込みは☎(833)1231内線332の同センター。「講習会①植物観察の基礎②押葉標本の作り方③秋まき草花の育て方◆市緑化センター」①は8月8日(木)②は8月9日(金)③9月6日(金)の13時半。無料。③のみ教材費500円。定員30人(抽選)。申し込みは①7月26日(金)②29日(月)③8月27日(火)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6

の14の1、同センター。☎(911)2177。①自分でできる指圧健康法②Windows95セミナー◆登戸ドレスメイカー学院①は7月18日(木)14時と18時半から講義と実習。受講料千2百円②は7月27日(土)28日(日)13時から。初心者向け。受講料1万円。定員先着各25人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。「平和講演会◆ブラザ橋」7月13日(土)13時半から「旧ユーゴの内戦と難民キャンプの子ども達」をテーマに、旧ユーゴの子供たちを支援する会の今時ミルカさんが講演。定員先着50人。申し込みは☎(788)1531の同所。「①パソコンI(基礎)Windows②同II(初級)同◆玉川大学」①は9月19日(木)20日(金)の18時からと、21日(土)13時から②は9月26日(木)

27日(金)18時からと、28日(土)13時半から。②は日本語入力を取得し、ワープロソフトを操る人。実習形式で指導。資料代込み各2万円。定員先着各25人。申し込みは①8月15日(木)②9月3日(火)10時から☎0427(39)8895の同大継続学習センター。玉川学園前駅下車。①英検対策講座②2級②染色植物染料で染める◆玉川大学①は9月9日②10月18日の17時10分から全12回。10月20日(日)の英検1次試験に向けての講座。受講料2万円。定員先着30人②は9月21日(土)〜来年1月25日の11時から全10回。植物採集をしてスカーフ、シャツ、タベストリーを染める。教材費込み6万5千円。定員先着10人。申し込みは①8月1日(木)②14日(水)の10時から☎0427(39)8895の同大継続学習センター。玉川学園前駅下車。

「フラワーデザイン壁飾り講習会◆市教育文化会館」7月13日(土)9時半から年間飾れる作品を作る。材料費のみ千800円。定員先着20人。申し込みは☎(599)1806の森さん。グループ花サロン主催。「ダンスパーティー◆川崎市民プラザ」7月20日(祝)18時半。ニューグロリア・オーケストラの演奏。入場料2千円。前売り☎(888)3131の同所。「①人形劇まつり②映画劇場③101匹わんちゃん◆川崎市民プラザ」①は7月26日(金)②29日(月)10時半。姉妹都市ウーロンゴンの劇団「シアターサウス」公演など。参加費700円、「シアターサウス」は別に300円②は8月31日(土)10時、14時。無料。定員先着各5百人。「工作教室①手作り乾電

市外同番のないものは044

学習・文化情報





学習・文化情報

参加したい催しがある



池②触覚ロボット③電動紙コプター◆東芝科学館①7月22日(月)〜27日(土)②8月12日(月)〜17日(土)③8月19日(月)〜24日(土)。10時、13時半。対象①小学3年以下②同4年以上③同3年以上。参加費①400円②1850円③850円。定員は各①③60人②30人。申し込み☎(549)2200の同館。

〔①歌声の広場②たかつ遊友広場③高津サミット祭◆県立高津青少年会館〕①は7月4日〜9月26日の毎週木曜19時。青年。定員15人②は7月13日(土)9時クラブト▽ゲーム▽イラスト▽卓球。小中高生③7月

27日(土)17時半。野外ステージ▽お化け屋敷▽模擬店▽写真▽盆踊り①のみ☎(844)2100の同館。

〔①子ども版画・絵画教室②ことも写真教室◆市市民ミュージアム〕①は7月27日(土)28日(日)13時②7月30日(火)〜8月1日(木)14時。カメラ持参。受講料①の大人千円、他は300円。教材費は①の絵画百円、他は500円。定員先着16〜22人。申し込み①7月16日(火)②17日(水)の9時半から☎(754)4500の同所。

〔雑草展◆市緑化センター〕8月7日(水)〜25日(日)9時半。350種の草花を展示。

〔夏休み平和映画会◆ブラザ橋〕7月28日(日)11時から「トビウオのぼうやはびょうきです」などの幼児、小学生向きアニメ▽13時半「うしろの正面だあれ」海老名香葉子さんの少女期アニメ。小学〜大人向き無料。当日同所へ直接。

〔ぞうり作り◆日本民家園〕8月4、18日の日曜10

時。教材費込み500円。定員30人(抽選)。7月21日(日)必着で往復はがきに住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区枳形7の1の1、同園。

〔かながわサイエンスウィーク①エネルギーって?②すごい通信の世界③理科の実験・工作を体験④手作りブーメラン◆東芝科学館〕①は8月26日(月)10時、13時②は27日(火)10時、13時。携帯電話のしくみを解説③は28日(水)10時、光の不思議を探る▽11時、草笛を作ろう▽13時、森の中の化学▽14時、身近なものを染める④は29日(木)31日(土)10時、13時。無料。定員先着60〜250人③の草笛、染色と④は☎(549)2200の同館へ申し込む。

〔①映画大会②サイエンスショー◆東芝科学館〕①は8月6日(火)7日(水)31日(土)の10時、13時半、人気アニメを。無料。定員各先着250人②8月7日(水)〜24日(土)10時半、14時(10日は午前のみ)、静

電気▽おもしろ電池▽超電導▽マイナスイオン96度の不思議を楽しむ。無料。定員先着各百人。前項参照。

〔①自分だけのマスクコト作り②子供のびのび広場③夏休み工作ひろば④子ども人形劇のつどい◆県立川崎青少年会館〕①は7月3、10日の水曜15時。小学生。材料費は実費。裁縫道具持参②は7月13日(土)10時、卓球・遊びコーナー。小中高生。ラケット、室内靴持参③は8月24日(土)13時、牛乳パックで工作。小学生はさみ、定規、のり、筆記具持参④は9月1日(日)14時、幼児・児童向け人形劇。無料。申し込み☎(222)5282の同館。

〔さいわいごみカレッジ◆浮島処理センター他〕7月25日(木)8時半、JR川崎駅集合。同センターで粗大ごみ処理施設などを見学▽26日(金)10時、堤根処理センターで瓶・缶の処理施設見学▽9月8日(日)11時、JR鹿島田駅前で行う。小学生以上500円、幼児は保

初めてふれるパソコン講座 I

受講者募集

- 日 時——9月17日(火)〜19日(木)午前10時〜午後4時
- 会 場——市教育文化会館学習室 (JR川崎駅から徒歩15分、バスあり)
- 対象/定員——市内在住・在勤・在学の方/30人(抽選)
- 受講料/使用機種——9千円。他に教材費千500円/NEC PC9801DX-U
- ◆申し込み——8月23日(金)〜30日(金)午前9時〜午後5時に  
☎ 044(233)6250の川崎市生涯学習振興事業団川崎分室 (月曜休み)



学習・文化情報

楽しいスポーツがある



人形展示▽24日(土)25日(日)の11、13、14、15時、「ひよっこり」を上映。高

除料1日50円。定員50人(抽選)。小学生以下は要保護者。申し込みは7月5日(金)までに、はがきに住所、氏名、電話番号、参加希望日、学校・学年を記し〒211幸区南加瀬5の38の2の102、阿部光子。☎(588)7771。

「ひよたん島がやってきた」片岡昌・人形劇美術の世界◆アートガーデンかわさき」8月20日(火)125日(日)の10時。「ひよっこりひよたん島」写真と「こども人形劇場」の

校生以上500円、小中学生300円。問い合わせは☎(222)8821の同所。

「かわさき市民「第九」合唱団員募集◆中原市民館」

9月3日から毎週火曜18時半練習開始。市内在住在勤の高校生以上。一般1万3千円(チケット3枚代金込み)高校生8千円(同)、小中学生5千円。楽譜、練習用セット実費。7月31日(水)までに、〒210川崎区駅前本町12の1タワーパーク3階、市文化財団「第九」係、☎(222)8821へはがきて応募。

「かわさき市美術展作品募集」募集要項は7月下旬に各区役所などで配布。問い合わせは☎(222)8821の市文化財団。

「映画上映会」岩波映画出身の監督たち◆市民ミュージアム」7月6日～8月4日の毎週土、日曜13時半、16時、上映(最終日13時半、16時半)。小川紳介、黒木和雄、土本典昭、羽仁進、東陽一らの作品。一般500円、小中生300円。7月21日(日)15時半「日本

映画史における岩波映画の位置」と題し、羽仁・土本・黒木・東の対談。司会は佐藤忠男・日本映画学校長。無料。問い合わせは☎(754)4500の同所。

スポーツ

「①女性硬式テニス教室 ②社交ダンス教室◆川崎市プラザ」①は9月2日～12月9日の毎週月曜10時、初級者▽13時、中級者②は9月7日～11月16日の毎週土曜9時、中級者▽10時40分、初級者。受講料1万2千円。定員①30人②60人ずつ(抽選)。申し込み①8月23日(金)②8月27日(火)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを記し〒213高津区新作1の19の1、同プラザ・各教室係☎(88)3131。

「暑中げいこ◆石川記念武道館」7月23日(火)～25日(木)10時、剣道▽14時、なぎなた▽18時、柔道、合気道、空手道、少林寺拳法。無料。定員は剣道百人、

他50人。申し込みは7月14日(日)10時に同館へ直接☎(544)0493。

「①スポーツコーナリ利用講習会②夏休みスポーツクラブ◆県立川崎青少年会館」①は7月19日(金)8月17日(土)18時半、ウエイトトレーニングの基本と利用法。16歳以上②は8月20日(火)～23日(金)10時、ボール運動、跳び箱。小学2、3年生。定員20人。運動着、室内靴持参。無料。保険料①千300円②400円。申し込みは☎(222)5282の同館。

「①洗足学園大学管弦楽団定期演奏会②イソ弦楽四重奏団定期公演100回記念特別演奏会③アカデミー室内オーケストラ演奏会◆洗足学園前田ホール」①は7月12日(金)18時半開演。ベートーベン「交響曲第4番 変ロ長調」他。指揮は秋山和慶。全席自由千円②は7月13日(土)18時開演。ハイドン「弦楽四重奏曲第77番 皇帝」他。出演は磯恒男(バイオリン)山中光(同)磯良男(ビオラ)三宅進(チェロ)他。無料③は7月17日(水)18時半開演。バッハ「バイオリン協奏曲」ホ長調 BWV1042他。出演は海野義雄(バイオリンと指揮)岡田知之(ティンパニ)他。全席自由千円。☎(877)3211の同大学演奏部。溝ノ口駅下車。

「結城座系あやつり人形芝居「アリスくどんどんお

ステージ

「スチューデント・ビツグバンド・ジャズサマーズサート◆川崎市民プラザ」8月11日(日)13時から。中高生の演奏。無料。☎(888)3131の同所。



学習・文化情報

◆みたい絵画がある

家が遠くなる」◆市市民ミュージアム」8月3日(土)19時開演。ルイス・キャロル作「不思議の国のアリス」が題材。全席自由で一般2千円、小中高生千500円。先着3百人。申し込みは7月12日(金)9時半から☎(754)4500の同所。

「親と子の音楽会」アンサンブルむげん」コンサート◆会館とどろき」7月27日(土)11時、14時開演。パンフルート(ルーマニアの笛)▽ボンボ(アンデスの太鼓)▽バンジョー(アメリカの弦楽器)など民族楽器で演奏。4歳以上500円。定員は先着各2百人。申し込みは7月2日(火)12日(金)に☎(733)3333の同所。

「川崎合唱まつり」◆麻生市民館」7月21日(日)10時半開演。市内の56合唱団が発表。無料。問い合わせ☎(222)8821の市文化財団。

①能楽鑑賞会②定期能劇世流梅若会◆川崎能楽堂」①は8月3日(土)13時開演。鶴沢久他出演の能

「小鍛冶」と解説、質疑。定員50人。全席自由2千円。②は9月14日(土)13時、15時半開演。能「自然居士」写真▽狂言「磁石」▽仕舞「井筒」他。出演は角当行雄、三宅右近他。各回3千500円。前売りは①7月3日(水)②8月14日(水)の9時から☎(222)7995の同堂。

**ギャラリー**

「ギャラリー幸」7月5日(金)10日(水)彫刻2人展▽12日(金)17日(水)パリ祭展▽26日(金)8月7日(水)海の展。川崎駅下車。☎(555)8181。

「画廊ランブ屋」7月5日(金)15日(月)笠井秀郎吹きガラス展。グラス、鉢、花入れ、掛花を展示。☎(945)4416。稲



田堤駅下車。

「市市民ミュージアム」7月20日(祝)9月8日(日)日本の漫画300年。北斎ら幕末風刺画や日清・日露戦争期の戯画、戦後の人気漫画▽7月21日(日)まで、戦後女性写真の展開。福田勝治、篠山紀信らの作品▽8月18日(日)まで、現代版画の比較鑑賞。プリンキー・パレルモと、サム・フランシス。一般700円、小中高大生300円。☎(754)4500。

「スナック喫茶琴」7月27日(土)まで川上清次・つよ子と紙の絵オブジェ▽29日(月)8月15日(木)村瀬真理子、西村なな子ポツアート▽16日(金)31日(土)下田正の風景写真。☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「ギャラリー華沙里」7月9日(火)まで横尾文字展▽11日(木)23日(火)久里洋二展▽8月1日(木)13日(火)梅原健二展▽8月29日(木)9月10日(火)木下恵介・松下サトル版画展。☎(954)2

333。新百合ヶ丘駅下車。

「中村正義の美術館」7月28日(日)まで中村正義「顔」展パート6。原色、蛍光塗料で描いたモデルのない顔。一般500円、小中生200円、学生300円。☎(953)4936。読売ランド前駅からバス。

「プラザ橋」7月12日(金)8月2日(金)平和児童画展「旧ユーゴ難民キャンプ発」。難民の子供の描いた戦争と平和の絵。☎(788)1531。

「市青少年科学館」9月1日(日)まで、オーロラ写真展「神秘とロマンを求めて」。小川誠治が3月、アラスカで写した作品。☎(922)4731。

「かわさきBMM市民文化ギャラリー」7月11日(木)8月6日(火)さまざまな眼中山正樹、清水誠一、彦坂尚嘉展。☎(233)3400。

「アートガーデンかわさき」7月2日(火)14日(日)岡本太郎追悼展▽16日(火)28日(日)親子で楽しむ絵本の世界▽8月

「かわさき市民アカデミー」にあなたの声を…

市民アカデミーがよりいきいきとした学びの場となるために、運営協議会の市民委員を公募します。任期は2年間です。

- ◆応募資格——18歳以上の市民で「市民大学」の発展を願う人(アカデミーの会員を除く)
- ◆応募方法——7月16日(火)～8月15日(木)、所定の応募用紙に必要事項を記入し  
〒211 中原区新丸子東3の473の2 中小企業・婦人会館内  
かわさき市民アカデミー事務局へ郵送。 ☎ 422-3932 FAX 422-7875



27日(火)～9月1日(日)  
平和美術展。 ☎(222)  
8821。

## 読者の声

文化向上の役割果たす  
小誌の部数減は残念

麻生区白鳥、紺野早苗さん  
ステージ・アップを毎号  
楽しみにしています。会社  
勤務のころは入手するのに  
一苦労しましたが、フリー  
ランス通訳となり、確実に  
読めるようになりました。  
景気が回復のきざし、と  
思っていました。ステ  
ージ・アップの部数削減を  
知り残念です。川崎北部の  
市民の大半は都内勤務で、  
市内文化人インタビューや  
地元の活動のニュースは貴  
重です。ステージ・アップ  
はその役割を見事に果たし  
てきました。部数が回復す  
るようお祈りします。

記事がきつかけで  
多くの方の参加を

痴呆性老人のグループホ

ームを設立する会

赤松葉子さん

5月号の「はりきつてま  
す グループ紹介」欄に私  
たちの会が載り、春のお日  
様みたいなスナップ写真と  
分かりやすく会の雰囲気  
の文章に感激しました。この  
記事が、私たちの会を必要  
とされている多くの方の目  
に止まり、参加して下さる  
事を望むばかりです。

## ミニニュース

戦後教育から欠落の  
民族差別・人権・平和

ふれあい館長が指摘

宮前文化センターサーク  
ル祭が5月中旬にあり、「韓  
国・朝鮮を知る会(佐藤恵  
子代表)が、裴重慶(川崎  
市ふれあい館長を招き、「共  
に生きる社会をめざして」  
と題し講演会をした。裴館  
長は「民族差別・人権・平  
和は、戦後歴史の大きな問  
題だが、学校教育では抜け  
落ちており、事実を知らない  
日本人が多い」と話す。  
また「私は長年、民族差別

問題にかかわってきたが、  
障害者が来た時『そんな余  
裕がない』と断り、内部で  
『自分たちは、韓国・朝鮮  
人問題を訴えながら、障害  
者の痛みが分からないのか』  
と批判され、一つの活動を  
やると同時に周囲の問題に  
も目を向ける必要性を学ん  
だ」と述べた(Y)。

千年郵便局が小誌  
配布場所の仲間入り

6月号から、小誌配布場  
所に高津区の川崎千年郵便  
局が仲間入りし、毎月50冊  
の配布を始めた。同局へ配  
布のきっかけは、94年3月  
号から協力をいただいている  
溝口郵便局の鈴木樗局長  
からの紹介。これにより、  
郵便局への小誌の配布は、  
川崎溝口・中原・川崎東柿  
生郵便局に続き4力所にな  
った。

昨年2月の「Stage  
UP 読者のつどい」の時、  
参加者の女性から「全市内  
の郵便局にステージ・アッ  
プを置いて」との提案があ  
り、「小さな実行」になった。

## 編集後記

小誌の昨年  
四月号「ほん  
ねインタビュー  
— いまを話  
す」のゲスト、  
高橋真知子さ  
んと夫・照雄

さん共著の「悠君 ごめん  
ね——父と母の白血病闘  
病記」(マルジユ社、千五百  
円)が近く出版される▼九  
歳六カ月で亡くなった悠君  
とその父母の三年十カ月  
は「白血病との闘い」そのも  
の▼苦労して骨髄移植をし  
ても、わが子の命を救えな  
かった両親の衝撃▼それに  
めげず、骨髄バンクの活動  
を今も続ける高橋さん▼そ  
れは、悠君との強い愛の絆  
から発せられる活動である  
と同時に、「いのちの尊さ」  
について、すべての人々へ  
のメッセージである▼「命  
よりお金のほうが大切」「命  
より校則のほうが大事」と  
錯覚するような世紀末▼  
「命は地球より重い」を「悠  
君 ごめんね」で読者の方  
々と一緒に確認したい▼本  
の題名、住所、氏名、電話  
番号を書き、FAX(94

5) 1396の高橋さん方  
へ予約を▼なお、五月三十  
一日放映したフジテレビの  
二時間ドラマ「また家族に  
してね」は高橋夫妻の原作、  
千葉茂樹さん(地球家族の  
会代表、昨年十一月号「い  
まを話す」ゲスト)の脚本  
▼久しぶりに社会性のある  
ドラマで、風間杜夫、伊藤  
蘭ら出演者が熱演していた  
▼さて、小誌の発行部数減  
と編集スタッフ減について、  
五月号「編集後記」で記し  
たところ、十数人の読者か  
ら激励や心配をいただき、  
申し訳のない気持ち▼「郵  
便局にステージ・アップを」  
の要望にお応えしようと  
「眠っている部数」の洗い  
出しをその後も努力中▼ス  
タッフ減については、若干  
の改善があった▼これまで  
協力スタッフで「いまを話  
す」の構成者、野々川千恵  
子さんが週二回勤務だが、  
スタッフに加わり「ステー  
ジ・アップの質を落として  
なるものか」と張り切つて  
いる▼読者の方々のさまざま  
な情報提供をお願いした  
い(T)。



川崎市友好都市ザルツブルグのタベ

7月31日前売り開始

バーメルト指揮による  
ロンドン・モーツァルト管弦楽団

クラシック界のプリンス **錦織 健** (テノール)

10月30日(水) 午後6時30分 開演

川崎市教育文化会館大ホール



クラシック界のプリンス  
錦織 健



ロンドン・モーツァルト管弦楽団



指揮者  
マティアス・バーメルト

- 曲 目      セレナーデ第13番 ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」K525  
 ディヴェルティメント 二長調 K136  
 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より「彼女の幸福こそ私の願い」  
 歌劇「魔笛」より「何と美しい絵姿」  
 交響曲第40番 ト短調K550  
 (曲目は変更になる場合があります)

- 入 場 料      全席指定    S席 4,500円      A席 4,000円  
 □発売開始      7月31日(水) 午前10時  
 □チケット      川崎市生涯学習振興事業団・同事業団川崎分室  
 販      市教育文化会館・各市民館・川崎音協・北野書店  
 売      チケットぴあ・チケットセゾン

問い合わせ      (財)川崎市生涯学習振興事業団小杉分室  
 文化イベント事務局 ☎(422) 3932

主催      (財)川崎市生涯学習振興事業団/川崎市/川崎市教育委員会



# かわさき ジャズ・ミュージック プレゼンツ

ビッグな競演!

12月4日(水)18:30開演  
川崎市教育文化会館大ホール

- 出演 天野清継・国府弘子 Heaven Duo  
伊藤君子グループ with 松本英彦
- 曲目 フォロー・ミー/明日に架ける橋  
ア・ソング・フォー・ユーほか
- 入場料 全席指定 S席 3,500円/A席 2,500円
- チケット販売 当事業団(小田急線新百合ヶ丘駅そば)/当事業団  
川崎分室/教育文化会館/各市民館/川崎音協  
☎222-3090/北野書店(JR鹿島田駅前) ☎511-  
5491/川崎ジャズ協会事務局 ☎245-0309/チケット  
ぴあ/チケットセゾン

9月4日  
AM10時  
より発売

- 問い合わせ 川崎市生涯学習振興事業団小杉分室  
文化イベント事務局 ☎422-3932

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団 川崎市 川崎市教育委員会



川崎出身の人気ジャズピアニスト・  
田府弘子と  
ギター界の大家・天野清継



日本のジャズ界をリードしてきた  
テナーサクソフ・松本英彦と  
世界的なボーカリスト・伊藤君子

●発行

電話044(952)5000代  
(財)川崎市生涯学習振興事業団

FAX 044(952)1350  
〒215 川崎市麻生区万福寺一の二、新百合21ビル  
編集人・田中 園

## 貯めるコツ、あります。

あなたのプランに、ピッタリの預金はどれですか?

期間が選べる手軽な定期預金。

**スーパー定期/スーパー定期300**

1年たてばお引き出しもOK。

**ワイド定期** 期日指定定期

自由に使えて有利にふやせる。

**貯蓄預金10/30**

半年ごとに新しい金利を適用。

**変動金利定期預金**

給料天引きで有利に計画貯蓄。

**財形貯蓄** 虹の預金

やっぱり、  
ボーナスは  
ろうきんだね。



ふれ愛バンク  
**ろうきん**

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎044(244)8331

中原支店 ☎044(733)0161

川崎南支店 ☎044(277)8211

新百合丘支店 ☎044(989)1111